

事務事業	11038	地域子ども教室支援事業	担当課 課長	子育て支援課 吉原 正治	担当係 担当者	子育て支援係 毛利真恵
計後 画期 体計 系画	施策 07	子どもの権利を守り、安全で健やかに成長できる まちをつくる	会計	1	一般会計	
			款	3	民生費	
			項	3	児童福祉費	
			目	6	子育て支援事業費	
			基本事業			
法令根拠条例等			個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 28年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		H19 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度	

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 志免町地域子ども教室運営委員会に対して、運営委員会経費と各地域子ども教室の実施経費の補助を行う。	<input type="checkbox"/>	2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
	主 な 事 業 費 の 内 訳	地域子ども教室事業補助金 1,917 千円
		千円
		千円
		千円
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 補助金交付要綱設置事務、補助金交付事務		千円
		千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

事務 事業 の 目 的	① 手段(主な活動) 28年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) 補助金を交付して支援する	⇒	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	指標数値				
			名称	単位	27年度	28年度	29年度	
			ア 運営委員会数	会	1	1	1 (見込)	
			イ 地域子ども教室の開催予定数	教室	4	4	4 (見込)	
			ウ 補助金交付教室数	教室	4	4	4 (見込)	
	② 対象(誰、何を対象にしているのか) 地域子ども教室運営者 小学校児童	⇒	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	指標数値				
			名称	単位	27年度	28年度	29年度	
			ア 運営委員会開催数	回	1	1	1 (見込)	
			イ 地域子ども教室開催数	回	4	4	4 (見込)	
			ウ 小学校児童数	人	3,080	3,092	3,176 (見込)	
	③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 地域子ども教室開催を支援 各小学校に1箇所開設 小学校児童が休業中に安全で、安心して 過ごせる場所を提供する	⇒	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	指標数値				
			名称	単位	27年度	28年度	29年度	
			ア 支援した校区の教室数	教室	目標	4	4	4
					実績	4	4	
			イ 教室の開催割合	%	目標	100.0	100.0	100.0
					実績	100.0	100.0	
			ウ 参加した児童数	人	目標	180	180	180
					実績	197	210	
			エ		目標			
					実績			
			オ		目標			
					実績			

(2) 総事業費の推移

事 業 費	財源内訳(千円)		27年度 (決算値)	28年度 (当初予算)	28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	
	経 費	国・県支出金、地方債等							
		受益者負担等							
		一般財源	1,712	2,174	1,917	2,174	2,174	2,174	
		合計(A)	1,712	2,174	1,917	2,174	2,174	2,174	
		(内臨時・嘱託職員人件費)							
	正職員人件費[按分](B)		571	977	799	1,359			
トータルコスト(A)+(B)		2,283	3,151	2,716	3,533	2,174	2,174		

事務事業評価表(事業実施年度:平成28年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
平成15年度、国が打ち出した地域子ども教室推進事業(16年度開始)がきっかけとなった。志免町子育て課が平成17年度に地域の大人達に呼びかけ、先進地視察等に参加してもらい、地域子ども教室の開催へと導いた。17年度に小学校の休業中(夏・秋・冬・春の各休み)に校区の小学1年生から6年生までを対象に参加者募集を行い、開始した。	共働きの世帯が増え、特に夏休みに子どもだけの留守家庭がふえており、長期休暇にこのような教室の需要がより増えると予想される。	夏休みだけでなく、春休みも開催してほしいという声や、申込して抽選で落ちてしまう子どもの世帯からは、定員を増やしてほしいとの声がある。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		28年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成28年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	応募も多く、人気の教室であるが、場所や人材の確保も、予算や時間的に限界があるため、すべてを受け入れることは難しい状況である。需要が多いのならば、拡大や事業そのものを見直す必要があると思われるが、運営場所や人材、予算等を見通すと現状を維持していくのがやっとの状況である。	<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→) ② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	補助金を交付することで、事業実施のための運営費等の安定が図られている。 地域子ども教室運営者が、地域子ども教室を開催できるように支援することにより、夏休みにおける子どもの居場所ができ、子どもの心身が健やかに育つことや地域全体で子どもを育てることにつながる
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input type="checkbox"/> 成果向上余地がある (理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がない (理由→)	場所や人材の確保により、受け入れが制限されている要因があるため、補助金の増額のみでは成果の向上には結びつかない
評価 ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	補助金がなくなると、地域子ども教室の運営に支障が出る。また開催をしたとしても、指導員への支払額を減額又は参加料を増額するという影響が出る可能性があり、保護者への負担が増える。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	上限を設定する等の条件を設定し、補助金交付額を抑えることで、事業費削減を図る。またコーディネーターの人員や賃金、活動の内容を検討することで削減できる。しかし、年々利用したい児童が増えてきているので、学校のスペースを考慮しながら、拡大していかざるを得ない状況であるため、現状での運営を維持せざるを得ない

(2) 28年度を振り返って(全体総括・反省点)

例年通り、応募も多く、抽選に落ちて利用出来なかった児童も多量いた。拡大することも検討しているが、使用してよい教室の確保が難しく、受益者負担と補助金でコストが出来るだけかからないように努力してもらっており、補助上限額を設けるには厳しい状況である。
--

3 今後の方向性(29年度以降の計画と30年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) <input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	(2) 平成29年度以降に取り組む内容と期待される効果 定員以上の応募があり、利用できない児童がいる状況であるため、事業拡大ができないか、運営委員会、学校等と協議をする必要がある。
---	--